

アカゲラ通信

2017年1月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



「森の家」冬期営業について

「森の家」、冬期間は毎週土日と祝日の 10 時～16 時開館となります。

公園のトイレはレストハウス、ピクニックテラス脇、第 2 駐車場、ちびっこ広場の 4 力所が閉鎖のため、
冬期間のトイレは展望台西側公衆トイレか「森の家」(開館時)をご利用ください、よろしくお願ひします。

2017 年 初日の出は見られなかった

旭山記念公園は今年も元旦初日の出詣でに多くの方がいらっしゃいました。

しかし、今年は初日の出は見られませんでした。

●元旦の様子

2017 年 1 月 1 日 6 時、日の出を約 1 時間後に控えた旭山記念公園。

駐車場は既に満車、今年は早くから多くの人が訪れていました。

気温はそれほど低くなく、風もなく、寒さが緩んだ朝でした。

空は一面の曇、南東の一部だけ雲が切れて空がオレンジ色に染まっていましたが、その方角は初日の出が登る場所より東寄りで、どうやら初日の出は見られなそうな雲行き。

来訪者は増える一方、展望台が賑やかになってきました。

そして日の出時刻 7 時 6 分、雲は動かず、太陽が昇ったことをその明るさから想像するだけでした。

雪が降っていても南東の空は晴れていたり、雲に覆われていても地平線近くの低い空があいていたり、逆に日の出直後は雲に覆われていてもそれから 15 分ほどで雲の上に太陽が出たりと、ここ 5 年はなんらかのかたちで初日の出を拝むことができたので、拝めなかつたのは 6 年振りでした。

気温が低くなく穏やかな朝だっただけに残念でしたが、風がなく雲が動かなかつたことが逆に気象条件としてはよくなかったのでしょうか。

7 時 10 分くらいから初日の出は拝めなそうと判断した人の帰る列ができ始め、7 時 20 分頃は帰る人のピーク、それから徐々に人と車が少なくなってゆきました。

●藻岩山登山の人

例年 8 時になるともう駐車場の車は数台になりますが、今年は 8 時でも 20 台以上が停まっていました。

元日だけは駐車場開門が 5 時と 1 時間早く、それから登山しても十分に初日の出に間に合うことから、どうやらここに車を停めて藻岩山に登って初日の出を拝む人が少なからずいらしたようです。

それ以外にも公園散策をする方が今年は多く残っていたと感じられ、例年よりも少し賑やかな朝でした。

●来訪者数は推定 350～400 人

7 時 10 分頃から駐車場を歩く人を数えた結果、320 人ほどを数えました。

その時点で登山などでまだ車に戻っていない人、駐車場を通らないで公園を出た人などを考慮した結果、元日の朝に旭山記念公園を訪れた人は 350～400 人ほどと推定されます。

今年多くの方にご来園いただきありがとうございます。



2017 年 1 月 1 日 7 時 5 分　日の出 1 分前の空



7 時 51 分　わずかに差し込んだ朝日

スノーシュー貸出はじめました

「森の家」では今年もスノーシュー貸出を行っています。

スノーシューを履いて雪の中を歩いてみませんか？ 楽しいですよ！

誰も踏んでいない雪の上に自分で道をつけ、夏には行けない森の中に行くことができます。

◎貸出日時：毎週土日と祝日 10 時～14 時 30 分 ◎料金：1 回 100 円(時間無制限)

◎サイズは LL、L、M、キッズ、の 4 つを用意しております ◎「森の家」にて受付

※15 時半までに「森の家」にお戻りください。 ※初めての方には使い方を説明します。

※危険な場所には行かないようお願いします。 ※その他「森の家」係員の指示に従ってください。



「早朝野鳥観察会」次回の日時

★「早朝野鳥観察会」2017年2月11日(土) 8時~10時頃まで

参加費 100円(保険代) 定員:15名(先着順) ■見られる鳥:アカゲラ、ベニヒワ、エナガ等

※双眼鏡貸し出しします(無料)。数に限りがあるのでご希望の方は参加申込時にお申し付けください。

◎「早朝野鳥観察会」は2月以降毎月第2土曜日を予定しています。4~6月にはその他に数回行います。

酉年もバードウォッチング

2017(平成29)年は酉年ということで鳥に注目が集まっていますが、愛鳥家は干支に関係なく野鳥を追い続けています。

●シマエナガ:旭山では引き続き群れに遭遇する機会が割と多くあります。

右写真上は昨年12月9日、下は今年1月2日に園内で撮影しました。

「森の家」の周りによく来ますが、午前7~8時台が狙い目です。

●ベニヒワ:12月から時折大群が見られるようになり、1月3日には

推定150羽以上の大群がシラカンバの種子を食べに来していました。

このまま越冬するかはまだ分からなですが、少数の群れが冬を通して見られる可能性はあります。

●ツグミ:真冬になって数が減り今は数羽が見られるくらいです。

●ヒレンジャク:1月7日の野鳥観察会で10羽ほどの群れがいましたが、例年通りであれば1月下旬までには南に移動し見られなくなります。

●マヒワ:見る機会が少し減ってきました。 ●ウソ:声はよく聞かれます。

●キバシリ:1月下旬から「チリチリチュリ」というか囀りが聞かれます。

●ハシブトガラ:12月下旬から囀りが本格化し今はよく聞かれます。

●ヤマゲラ:「ピヨッピヨッピヨッピヨッ」と大きな声がよく聞かれ、時々近くで姿が見られます。

●クマゲラ:旭山で見る機会も少しずつ増えてきました。



鳥の群れを見た! 簡単な鳥の数の数え方

「ベニヒワ推定150羽以上の大群」と書きましたが、どうやって数えたの? と思われたかもしれません。

20羽くらいまでならなんとか数えられるけれど、50羽ともなると一瞬では無理。

写真を撮って後で数えるのも、飛んでいる鳥の場合は難しいものがあります

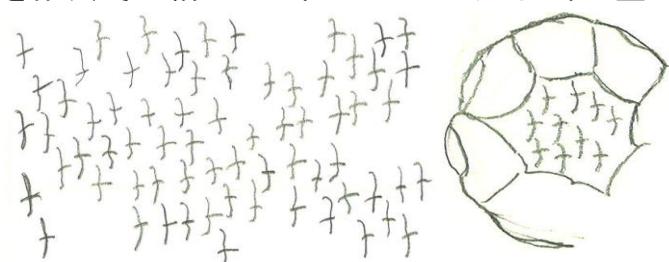
じゃあ当てずっぽう?? いえいえ、では、鳥の群れの数を概算で出せるコツをお教えします。

鳥の群れを見つけたら、まずは親指と人差し指で輪っかを作り、その輪っかの中に10羽が入るように空の鳥の群れに向かって指を当てます。

その輪っかがいくつあれば群れ全体を覆うことができるかで、だいたいの群れの数が分かります。

例えば下図では輪っか7つで群れ全体を覆えるので70羽ということになります。

調査などの正確な数が必要な場合は別ですが、この方法でも大きく数が違うことはありません。



×7=70羽

編集後記

日の出が遅い1月は朝焼けや朝日など朝の景色を楽しめます。

右写真は2013年1月7日の「幻日」と呼ばれる現象です。

太陽の向かって左側に虹色の楕円形の光が出ているのが「幻日」です。

ところで朝の景色をどうして「朝景」といわないので、「夕景」はいうのに。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第38号 2017(平成29)年1月9日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話 011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>